

新中川洪水ハザードマップ

—想定最大規模レベル2—

この地図は、**想定し得る最大規模の際限に伴う洪水(レベル2)**により新中川が氾濫した場合の浸水予測に基づいて、浸水範囲とその程度ならびに避難場所を示しています。

いざという時のために、日ごろからご家族はもちろん、ご近所や自主防災組織の方々や避難場所、避難経路などについて話し合っておきましょう。

雨の強さと降り方

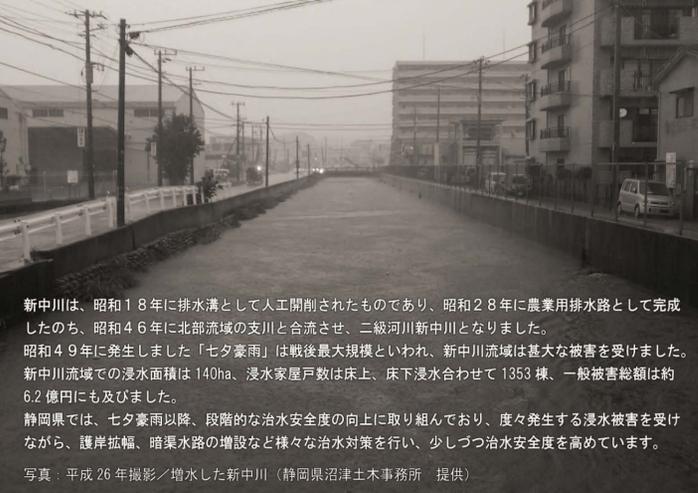
1時間雨量(mm)	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる

大雨によって災害が起こるおそれのあるときは大雨注意報や洪水注意報を、重大な災害が起こるおそれのある時は大雨警報や洪水警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが高いときは大雨特別警報を発表して注意を呼びかけます。

数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測、解析したときには記録的短時間大雨情報を発表します。この情報が発表されたときは、お住まいの地域で土砂災害や浸水害、中小河川の洪水の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。

出處：気象庁、雨の強さと降り方

過去の水害情報 —七夕豪雨—



洪水発生メカニズム

洪水(外水はん濫)
河川の水位が上昇し堤防からあふれ出ることを「越水」と言い、その水の流れにより堤防の裏面が削られます。削られたところにさらに水が流れ込むことで次第に堤防全体が弱くなり、崩れてまいります。

越水(えつすい)
河川の水位が上昇し堤防からあふれ出ることを「越水」と言い、その水の流れにより堤防の裏面が削られます。削られたところにさらに水が流れ込むことで次第に堤防全体が弱くなり、崩れてまいります。

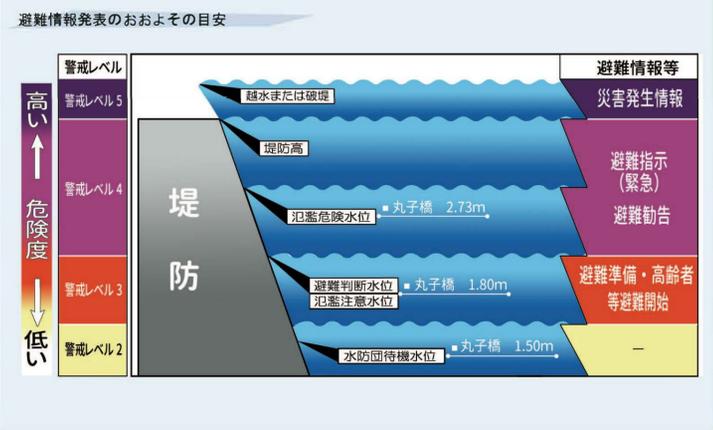
洗掘(せんくつ)
河川の水の流れや勢いなどによって、堤防の側面や堤防近くの川床が部分的に削り取られることを「洗掘」と言います。削られたところに水が流れ込むことで次第に堤防全体が弱くなり、崩れてまいります。

浸透(しんとう)
降雨により堤防内部の水分量が増加したところに、さらに河川の水位が上昇し河川水が浸透し堤防の裏の斜面から崩壊が始まることを「浸透」と言います。崩れた箇所さらに水が流れ込むことにより拡大し、崩れてまいります。

大雨時に発表される情報について

警戒レベルと避難行動について

	警戒レベル	住民の皆さんがとるべき行動	気象警報等	避難情報等	川の情報	判断基準
高い危険度	警戒レベル5	既に災害が発生しているため命を守る最善の行動	大雨特別警報	災害発生情報(できる前面で発表)	氾濫発生情報	堤防からの越水、または破壊がおこり、河川水による洪水が確認されたとき
高い危険度	警戒レベル4	避難 ・速やかに避難場所へ避難をしましょう。 ・避難場所への移動が危険と思われる場合は、近くより安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。	土砂災害警戒警報	避難指示(緊急) 避難勧告	氾濫危険情報	基準地点の水位が一定時間後に氾濫危険水位に到達することが見込まれるとき
高い危険度	警戒レベル3	高齢者等は避難 ・高齢の方や障害をお持ちの方、乳幼児をお連れの方など避難に時間のかかる人は避難をしましょう。 ・その他の方は、避難の準備をしましょう。	大雨警報 洪水警報	避難準備・高齢者等避難開始	氾濫警戒情報	基準地点の水位が一定時間後に氾濫危険水位に到達することが見込まれるとき、または、避難判断水位に到達し、更に水位の上昇が見込まれるとき
高い危険度	警戒レベル2	避難行動の確認をしましょう。	大雨注意報	—	氾濫注意情報	基準地点の水位が氾濫注意水位に到達し、更に水位の上昇が見込まれるとき
低い危険度	警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報(警報発の可能性)	—	—	—



情報伝達経路

気象情報(注意報・警報)・洪水予報と避難情報は、下記の図のような経路で市民の皆さんに伝達されます。

沼津市 避難指示(緊急) 避難勧告 避難準備・高齢者等避難開始

沼津警察署 広報車

市民のみなさん

- ### 土砂災害や津波ハザードマップの入手先
- 洪水ハザードマップ
沼津市役所河川課(本庁6階)または沼津市ホームページ
(http://www.city.numazu.shizuoka.jp/kikkikanri/index.htm⇒「風水害・土砂災害への備えと対応」)
- 土砂災害ハザードマップ
沼津市役所河川課(本庁6階)または沼津市ホームページ
(http://www.city.numazu.shizuoka.jp/kikkikanri/index.htm⇒「風水害・土砂災害への備えと対応」)
- 津波ハザードマップ
沼津市役所危機管理課(本庁5階)または沼津市ホームページ
(http://www.city.numazu.shizuoka.jp/kikkikanri/index.htm⇒「地震・津波への備えと対策」)

土砂災害とは

警戒レベル	メッシュの色	状態
警戒レベル5	紫色	現在、土砂災害の危険な状況である。
警戒レベル4	赤色	1時間後に、土砂災害の危険になるおそれがある。
警戒レベル3	黄色	2時間後に、土砂災害の危険になるおそれがある。
警戒レベル2	緑色	3時間後に、土砂災害の危険になるおそれがある。
警戒レベル1	—	—

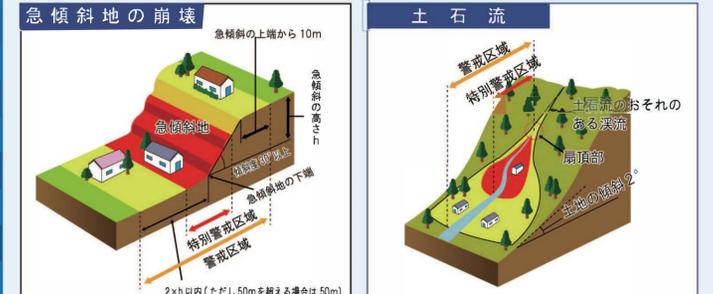
大雨や地震などが引き金となって、山やがけが崩れたり、水と混じり合った土や石が川から流れ出たりすることにより、私たちの命や財産が脅かされる自然災害です。

土砂災害の種類と土砂災害(特別)警戒区域の指定について
土砂災害の主な種類として、「急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)」「土石流」「地すべり」があります。

沼津市内では「急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)」「土石流」の発生する恐れのある箇所について、土砂災害の危険から住民の生命または身体を守るため、土砂災害防止法に基づき土砂災害(特別)警戒区域が静岡県によって指定されています。地図面(おもて面)に土砂災害(特別)警戒区域を表示していますので、大雨や地震の際には区域から避難し、また避難行動時にはなるべく区域を避けるようにしましょう。

土砂災害警戒区域(地図面【おもて面】では黄色)
崩壊した土石等によって、被害を受けるおそれのある区域です。

土砂災害特別警戒区域(地図面【おもて面】では赤色)
崩壊した土石等によって、住宅等の建築物が倒壊し、住んでいる人の生命や身体に大きな危害が生ずるおそれがある区域です。



水害継続時間(想定最大規模)

浸水深が50cmに達してから50cmを下回るまでの時間のこと(浸水継続時間)とします。表面の浸水想定区域図における最大継続時間下の地図面を表示しています。

凡例
12時間(3日動)未達
24時間(1日動)未達
12時間未満

受水時には電気や上下水道等の機能停止が生じるため、浸水継続時間が長時間にわたる場所において自宅の2階以上などに避難した際には、生活上の困難が生じる可能性が低くなります。高層階への避難(垂直避難)が分かるための一つの手段となりますが、逃げ遅れしてしまう前に避難場所への準備をお願いします。

避難時の心得

いざという時、あわてず、冷静に。日頃から避難に必要なものを整理しておくとともに、避難の手順について家庭で打合せしておく、いざという時あわてず行動ができます。また、その時はラジオや広報車などからの情報を確認し、1人で行動せず、必ずグループで行動するようにしましょう。

安全な避難路の事前確認を

非常持ち出し品の事前準備を

正確な情報収集と自主的避難を

避難の呼びかけに注意を

お年寄りなどの避難に協力を

動きやすい服装、2人以上での避難

河川や水路に近づかない

道路や堤防に車を放置しない

非常持ち出し品のチェック

貴重品	防災用品	食料品・日用品
現金	ラジオ	飲料水(1人/3日)
証券	手袋	おにぎり、パン等
健康保険証	雨具	缶詰類
免許証	照明具・携帯電話	ロバックごはん
印鑑	非常用ライト	おしし、スプーン
通帳	スマートフォンバッテリー	ロナキン、ラップ
医療用品	乾電池	ロポリ袋
救急セット		衣料品
処方箋		タオル
おくすり手帳		お風呂敷

お近くの雨水ますや側溝の点検・清掃を

雨水ますや側溝に落ち葉、ゴミが詰まると、浸水の原因になります。家の近くの雨水ますや側溝の点検・清掃にご協力をお願いします。

我が家の防災メモ

普段から家族の緊急時連絡先や避難行動について話し合っておきましょう。

<我が家の避難場所>

氏名	電話番号

<災害時の緊急連絡先>

親戚・知人などで連絡の取りやすい人の氏名・連絡先を記入してください	氏名	電話番号

<家族の緊急連絡先>

名前	生年月日	連絡先	電話番号	血液型

災害時の安否確認方法

災害用伝言ダイヤル「171」
災害時は電話が集中し、つながりにくくなります。そのような時、被災地内の人とそ地域の人々の「声の伝言板」が災害時伝言ダイヤルです。

携帯電話の災害用伝言板
携帯電話各社が災害発生時に提供するサービスです。被災地の人が携帯電話の番号をキーにして安否情報を文字で登録、他社の携帯電話やPCからも確認できます。

自分電話番号をダイヤル → 171にダイヤル → 伝言を録音

相手の電話番号をダイヤル → 171にダイヤル → 伝言を再生

安否情報の登録

安否情報の確認

安否情報の確認

※上記一例です。携帯電話事業者により画面や操作方法が異なりますので、詳しくはご利用になっている携帯電話事業者のホームページにてご確認ください。

防災訓練に参加しましょう

避難行動や災害時の初動などを適切に行うには、日頃の訓練が欠かせません。地域で開催される防災訓練や防災講習に家族全員で参加しましょう。

自主避難

ご自身が危険と判断した時には、自主的に避難をしましょう。

場所によっては、指示を待つのではなく、自主的に避難を行うことが必要です。また、避難場所ばかりが有効な避難先とは限りません。災害の状況によって高い建物の上階への移動(垂直避難)や、その場にとどまる行動が有効な場合もあります。